

# NEWS

NEWS  
INFORMATION  
TOPICS  
COMMUNICATION

# NEWS

## 長崎県日中親善協議会

第  
**75**  
巻

発行／2019(平成31)年3月  
長崎県日中親善協議会



## 日中平和友好条約締結40周年記念 「長崎と中国の友好交流記念レセプション」

《2018(平成30)年10月26日(金)》



# 日中平和友好条約締結40周年記念 長崎と中国の友好交流記念レセプション

2018(平成30)年10月26日(金)、中華人民共和国駐長崎総領事館と当協議会の主催により、日中平和友好条約締結40周年を記念し、「長崎と中国の友好交流記念レセプション」を開催しました。

レセプションは、郭燕(かく えん) 中華人民共和国駐日本国臨時代理大使ご臨席のもと、溝口県議会議長、県選出国會議員、市町長、経済団体、友好団体のほか、大学生や留学生などの若者も含め500名あまりが参加し盛大に行われました。

冒頭、当協議会会長の中村知事が主催者挨拶で「北京市において安倍首相と李克強首相との首脳会談が行われたところであり、日中交流は新たな段階に入っていくものと期待している。長崎は、先人の皆様が築きあげてきた他にはない友好と信頼の絆が脈々と受け継がれており、これからもさらに交流を発展させていきたい」と述べました。

また、来賓として出席された郭燕臨時代理大使は挨拶の中で、「長崎県と中国は一衣帯水の仲で、長い交流の歴史と友好の伝統があり、長崎県は最も早く国交正常化を呼びかけた地方自治体である。長崎各界の皆様はこれまで各方面で中国との友好関係を推進し積極的に努力し貢献されてきた」と述べられました。



中村法道知事



郭燕臨時代理大使



劉亜明中国駐長崎総領事



感謝状贈呈

前列左から

元長崎県知事、

(公財)長崎県国際交流協会理事長

故 高田 勇 氏

(代理 高田 府子 氏)

長崎華僑総会名誉会長

故 俞 雲登 氏

(代理 俞 稔生 氏)

レセプションは、劉亜明総領事の乾杯で始まり、故高田勇元長崎県知事、(公財)長崎県国際交流協会理事長及び故俞雲登長崎華僑総会名誉会長の永年にわたる長崎県と中国との友好親善の偉大なご功績に対して感謝状の贈呈が行われたほか、青少年交流やペーロン交流のため訪中した県内大学生の発表、四川茶芸、ヤンコ踊り、変面ショーなどのアトラクションをお楽しみいただき、終始和やかな雰囲気の中で終了しました。



青少年交流代表者による発表



長崎総合科学大学ペーロン部の皆さん



四川茶芸



ヤンコ踊り



# 日中平和友好条約締結40周年記念 未来へつなぐ 日中青少年交流事業

日中平和友好条約締結40周年を記念して、中国駐長崎総領事館の支援を受け、孫文・梅屋庄吉塾に参加した県内大学生27名を湖北省及び上海市に派遣しました。

長崎と中国とのゆかりの地を訪問したほか、中国人大学生との意見交換や学食体験などを通じて、相互理解を深めることができました。



## ～日中青少年交流プログラムに参加して～

長崎大学 1年 <sup>ほんだ ゆり</sup> 本田 侑梨

今回、日中青少年交流プログラムで5日間、中国へ行き、そこで考えることはとても多かったように思います。中国へ行く前の印象は、あまり良いものではありませんでしたが、実際に訪れてみると、印象とは全く違ったため、このプログラムに参加してよかったと本当に思いました。特に、今回のプログラムのメインである日中間の大学生での交流は、私自身、非常に刺激を受けました。また、湖北大学と上海理工大学の2つの大学を訪れることができ、たくさんを経験できました。

湖北大学では、日本と中国の生活の違いや疑問に思っていることをお互い発言することは、中国人大学生からの質問により、日本を違った視点でみることができ、とても新鮮でした。逆に、中国に訪れて不思議に思ったことがいくつかあったため、積極的に質問をしていきました。例えば、新入生になると、軍服を着て、1か月間の軍事訓練を行うことが気になったため、尋ねてみると、その理由として、早く学校生活に慣れるためだと教えてもらいました。また、夜には、太極拳を教わったり、本場の龍踊を見学できたりとこういう機会がないと見ることができないことを体験できたのは、良い思い出です。

上海理工大学では、世界、主に日本と中国の未来を「絵」で表現し、みんなの前で発表するという交流は、湖北大学との交流より少ない時間だったにもかかわらず、充実した時間を過ごすことができました。絵というかたちで表現するのは、斬新ではあったものの、言語の壁をこえて、楽しく作業しつつ、普段、友達と話しているような他愛のない話ことができました。

2つの大学生間での交流の仕方は違いましたが、お互いの文化を知り、そして受け入れるということをした良い時間だと思いました。文化が違うからといって、非難するのではなく、どういうものなのか理解していくことが大事だということ、身をもって知ることができました。

このような交流プログラムのおかげで、自分の考えや視点が変わり、これから積極的にこのようなプログラムに参加していこうと思うきっかけになりました。ありがとうございました。

## 「KIMONOプロジェクト」中国の着物完成披露

2018(平成30)年11月29日(木)、2020年の東京オリンピックに向けて世界206カ国・地域それぞれをイメージした着物を制作する「KIMONOプロジェクト」の一環で、当協議会の松藤章喜副会長が代表を務める松藤グループがスポンサーとなった着物が完成し、県庁で中村知事にお披露目しました。

着物は「中国」をイメージして、万里の長城や竜、パンダ、牡丹の花などの刺繍が施されています。中村知事は「これでまた長崎県と中国との特別な縁となる財産ができた。多くの場面で活用してほしい」と話しました。



## 福建省友好代表団 来県

2018(平成30)年8月7日(火)、胡昌昇(こしょうしょう)中国共産党福建省委員会常務委員、組織部部長を団長とする福建省友好代表団一行6名が友好親善のため来県され、平田副知事を表敬訪問されました。

## 湖北省代表団来県

2018(平成30)年8月31日(金)、王晓東(おうぎょうとう)湖北省省長を団長とする一行16名が来県されました。中村知事を表敬訪問され、終了後には引き続き同会場において、中村知事と王省長同席のもと田代文化観光国際部政策監と秦宇(しんう)湖北省外事僑務弁公室主任との間で友好交流項目協議書の調印式が行われました。

本県と湖北省は、2011(平成23)年10月に友好交流に関する同意書を締結しており、これに基づき、毎年、両県省が取り組む交流項目について協議書を作成し、調印を行っています。



友好交流項目協議書の調印式





# 2018年上海国際友好都市

長崎県は、1996(平成8)年10月に上海市と友好交流関係に関する同意書を締結し、これに基づき文化、経済、観光のほか、青少年交流など多岐にわたる交流を行っています。

上海国際友好都市青少年サマーキャンプは、国際的な視野を広め相互理解を深めることを目的に、2010(平成22)年から毎年夏に行われ、上海市と友好関係を結んでいる世界各国・地域の都市から100名を超える青少年が一同に集まり、中国語学習や中国の伝統文化体験、スポーツなど様々な活動を通して交流を深めています。長崎県は2011(平成23)年から毎年招待を受けており、県内の高校生を派遣しています。

## 上海サマーキャンプに参加して

長崎県立大村高等学校 2年 まつむら 松村 おと 乙香

長崎県が、上海市と友好交流都市として関係を樹立してから、20年以上が経過している。現在もなお、経済・人・教育などを通して活発に交流が行われていることを今回のサマーキャンプでは肌で感じる事ができた。国も言語も違う多くの国の仲間との貴重な交流が、私にたくさんの示唆を与えてくれて、学ぶべきことは多岐に及んだ。第一に「コミュニケーションの魅力」である。私のコミュニケーションツールは片言の英語。最終的にはジェスチャーや絵に描いたりしながら思いを伝えた。恥ずかしく、思い切りできないこともあったが、お互いの思いが通じたときは距離がぐっと近づいた感じがした。次に「多文化・他文化を知る、理解することが自分自身のグローバル化の第一歩」だということが理解できたことだ。中国は隣国でありながら知らないことが多く、自身の無学さを痛感した。中国だけでなく中米や欧州の国の仲間と交流したが、相手国の文化を理解することが不可欠であった。同時に、他国を知るということは自国を知るということ、つまり、私が住んでいる大村を、長崎県を、そして日本をしっかりと理解しなければならないことにも気づいた。最後に「他国に実際に行き、その国の衣食住に触れることで、相手の国と自身の国の素晴らしさに気づく」ということだ。両国の国民が互いの良さを理解し、ウィン・ウインの関係を築けたら最高だと感じた。今回、この貴重な機会を与えて下さった方々や先生方、また現地で温かく迎え、親身にボランティアをしてくれた学生、出会った数々の仲間たちに感謝したい。そして、学んだことをこれからの学生生活に、また今後の人生に活かしていくということを強く誓いたい。



前列左から2番目

# 青少年サマーキャンプ

主催：上海市教育委員会

日程：2018(平成30)年7月18日(水)～31日(火)

参加者：長崎県立大村高等学校 (生徒4名)

1年	福田 翔也	さん
1年	濱口 菜摘	さん
2年	松村 乙香	さん
2年	久富 紗矢	さん
引率者	渋谷 雪絵	先生



内容：中国語の学習、中国の伝統文化の体験、東方緑舟でのレクリエーション活動、博物館見学、中国武術体験、上海市内及び周辺都市の観光、ホームビジット等

## 上海サマーキャンプに参加して

長崎県立大村高等学校 2年 久富 紗矢

まず、上海に滞在し始めてすぐに自分の英語力の無さを痛感しました。私の第二言語は英語で、大勢の他国の高校生も同じ条件のはずなのに、全く歯が立たず、悔しかったです。でも、周りが同じ英語で話していたり自分も英語でコミュニケーションを取り始めたりしていくうちに、段々耳が慣れていき少しずつ英語の単語が頭に入っていくようになりました。私のルームメイトはシャイなフランス人の子で、はじめはなかなか会話が続かなかったけれど、私からがむしゃらに単語を繋げて話しかけるうちに仲良くなっていき、最後にはお互いの国の言葉を教えあうまでの仲に発展しました。そして、私が驚いたことには他国の子どもたちのほとんどが簡単な日本語を知っていることでした。日本文化に興味を持っている人が多いことを知り、とても嬉しかったです。この上海サマーキャンプを通して学んだことは、どこに居ても積極性が大事だということです。自分の英語が全然伝わらず相手を困らせる時がたくさんありました。それでも諦めずに伝わるまで挑戦し続けること、それが何においても重要なことであると思います。挑戦し、成功したときの喜びは挑戦した人にしか分からないからです。この2週間の中で得たたくさんの出逢いを胸に、またいつか、みんなと会える日まで自分の積極性を磨き続けながら、これからの日々を過ごしていきたいです。



左から2番目



## 第45回中国人墓地清掃

2018(平成30)年9月24日(月)、当協議会主催で、毎年恒例の中国人墓地清掃を行いました(稲佐悟真寺国際墓地内)。この清掃活動は、1974(昭和49)年に始まり、日中平和友好条約締結40周年の節目となる今年で45回目を迎えました。当日は、好天に恵まれ劉亜明中国駐長崎総領事をはじめ、長崎華僑総会や長崎新華僑華人協会、中国人留学生、当協議会会員、高校生、大学生、企業、団体など約250名のボランティアの皆様が、約1時間半の清掃作業に汗を流しました。ボランティアの皆様は、長崎市内だけではなく、遠くは、平戸市、佐世保市、諫早市からお越しいただきました。皆様のご協力のおかげで草に覆われた墓地は見違えるほどきれいになりました。

皆様、本当にありがとうございました。

当協議会では、今後とも中国人墓地清掃活動を続けていきたいと考えておりますので引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

### 〈主な参加協力団体〉

中華人民共和国駐長崎総領事館、長崎華僑総会、長崎新華僑華人協会、中国東方航空長崎支店、九州電力(株)長崎支店、(一財)長崎県地域婦人団体連絡協議会、(一社)長崎青年会議所、長崎女子商業高等学校、三菱電機グループ、(株)十八銀行稲佐支店・稲佐中央通り支店、(株)親和銀行地域振興部、(株)西日本シティ銀行、長崎外国語大学、長崎県立大学佐世保校・シーボルト校、大黒町青年会、長崎県立西陵高等学校、長崎県、長崎市、平戸市、長崎県日中親善協議会会員(その他、多くの皆様にご協力いただきました。)



焼香



清掃活動の様子

## 第20回ながさき国際協力・交流フェスティバル

2018(平成30)年10月28日(日)、長崎市出島町の出島交流会館において第20回ながさき国際協力・交流フェスティバルが開催されました。このフェスティバルは、「出会う」「体験する」「味わう」「協力する」をモットーに国際化を広く地域社会と県民に浸透させ、国際交流の草の根のすそ野を広げていくことを願って開催するものであり、1999(平成11)年から毎年開催されています。



県内の国際協力・国際交流団体など32団体が出展し、2,000名を超える参加者がありました。今年は、特にファミリーでの参加が多いように感じられました。

参加団体の各ブースでは、「着物を着て茶道を体験しよう!」のコーナーや活動展示、フリーマーケット、海外手工芸品の販売、世界の料理販売などに多くの来場者が訪れました。

当協議会のブースは、長崎県立大学シーボルト校研修員の吉星さんや中国東方航空長崎支店の西山さんにもお手伝いいただき、中国面白クイズや中国語会話などで来場者の皆さまと交流し、大いに盛り上がりました。



## 第7回長崎県日中親睦卓球交流大会

2018(平成30)年12月8日(土)、三菱重工総合体育館において、第7回長崎県日中親睦卓球交流大会を開催しました。本大会は、長崎新華僑華人協会の呼びかけで始まりました。

大会には、自治体、県内企業、留学生、大学生、小中高生105名が参加し、上級、中級、初級クラス別団体戦を実施。長崎市だけでなく、諫早市、佐世保市、福岡市のほか中国浙江省からの参加もあり、熱いバトルが繰り広げられ、気持ちのいい汗を流しました。



試合の様子

### 〈結果〉

#### A(上級の部)

優勝 新華僑華人協会 A  
準優勝 長崎県立大学 A  
3位 長崎 S S T - A

#### B(中級の部)

優勝 浙江嘉善日中友好 A (中国)  
準優勝 長崎 S S T - B  
3位 長崎県庁 B

#### C(初級の部)

優勝 浙江嘉善日中友好 B (中国)  
準優勝 たんぽぽ  
3位 長崎上海クラブ

## 長崎県中国語講座

当協会の中国語普及促進事業の一環として開催しているこの講座は、これまで多くの県民の皆様が受講され、中国語の勉強を通じて、隣国に対する理解と関心を深めてきました。

授業は受講者のレベルに応じ、クラスに分かれて開催しており、発音、文法、日常会話、リスニング、文章の読解などを学んでいます。

現在、長崎会場と佐世保会場にて2019年の講座受講生を募集しております。中国に興味のある方、もう一度中国語にチャレンジしてみたい方など、皆様のご参加をお待ちしております。



廈門大学外文学院

### 長崎会場

開講期間：2019年4月20日～翌年3月  
開講時間：【入門】土曜日 13:00～14:00  
【初級】土曜日 14:10～15:30  
【中・上級】土曜日 15:40～17:00  
開講場所：長崎県勤労福祉会館(長崎市桜町)  
受講料：半年12,000円、年間24,000円  
(※テキスト代実費)  
講師：徐 静(じょ しずか) 上海市出身  
連絡先：095-832-2878(長崎県国際課内)

### 佐世保会場

開講期間：【入門・初級】2019年5月7日～翌年3月  
【中級】2019年5月9日～翌年3月  
開講時間：【入門】①毎週火曜日 19:50～21:10  
【初級】②毎週火曜日 18:20～19:40  
【中級】③毎週木曜日 18:30～19:50  
開講場所：①②中央公民館(常盤町)  
③山澄地区公民館(潮見町)  
受講料：年間20,900円(※年会費3,000円、テキスト代実費)  
講師：趙 麗(ちよう れい) 南京市出身  
連絡先：0956-25-9647(佐世保市国際政策課内)

## 中華人民共和国駐日本国大使館との友好交流会

2019(平成31)年1月22日(火)、中華人民共和国駐日本国大使館において、同大使館、長崎県及び長崎県日中親善協議会の共催により、友好交流会を開催しました。

本交流会は全国の自治体で唯一、長崎県だけが行っているものであり、大使館からは程永華大使ご夫妻をはじめ多くの大使館職員の皆様にご出席いただいたほか、長崎県からも中国と交流のある自治体、経済界、大学関係者など各界の皆様にご出席いただき、懇親を深めました。

程大使は、「長崎県は一貫して中国と交流を深めようと何世代にもわたり積極的な活動を続けており、皆さんの熱意に感謝する」、「昨年、李克強総理の訪日、安倍総理の訪中を通じ両国関係が正常な軌道に戻った。今年は両国関係の発展にとって大きなチャンスを迎えている」と述べられました。

交流会では、長崎県産マグロの解体ショーが実施され中村知事と程大使が一緒に入刀式を行ったほか、大使館から変面ショー、また、中国をイメージした華やかな着物とチャイナドレスが披露されるなど会場は大いに盛り上がりました。今後も引き続き、大使館の皆様と連携を図りながら、長崎県と中国との友好交流を促進してまいります。



交流会前に談笑する中村法道知事(左)と程永華大使(右)



中村法道知事による挨拶



長崎県産マグロ解体ショーでの中村知事と程大使による入刀式



着物とチャイナドレスの共演



大使館による変面ショー



## 第39回長崎県中国語コンクール

2019(平成31)年2月17日(日)、長崎歴史文化博物館ホールにおいて、第39回長崎県中国語コンクールを開催しました。

本コンクールは、1979(昭和54)年の長崎～上海間定期航空路開設を記念した「長崎県中国語弁論大会」から始まり、1980(昭和55)年から毎年開催しています。当日は、多くの観客の皆様の声援を受け、初級の部(課題文朗読)に15



受賞者の皆様

名、上級の部(中国語によるスピーチ)に6名、計21名の方が出場し、皆さんそれぞれに表現力豊かなスピーチを行い、日頃の学習の成果を競い合いました。

### 【初級の部】(一般の部及び学生の部)

- 最優秀賞(一般) 岩本 昌樹(長崎大学教育学部附属小学校1年)  
 (学生) 中村 優希(長崎県立大学佐世保校2年)  
 優秀賞(学生) 森井 宏典(長崎県立大学佐世保校2年)  
 (学生) 今村美紗樹(長崎県立大学シーボルト校2年)

### 【上級の部】

- 最優秀賞 山下 竜司(長崎外国語大学1年)  
 優秀賞 福田 渚(長崎県立大学佐世保校3年)

### 【敢闘賞】 川添 百華(長崎県立佐世保商業高等学校2年)

### 【特別賞】(中国総領事館賞)

- 伊藤 覚(長崎県立壱岐高等学校1年)

## 西暦2019年(中国関係)行事表

行事名称	旧暦月日	新暦月日	摘要
春 節	1月1日	2月5日(火)	旧暦正月 ランタンフェスティバル初日
關 聖 帝 君 飛 昇	1月13日	2月17日(日)	崇福寺 關帝祭
元 宵 節	1月15日	2月19日(火)	崇福寺燈籠祭・唐人屋敷燈籠祭 ランタンフェスティバル最終日
福 德 正 神 千 秋	2月2日	3月8日(金)	唐人屋敷 土神祭
觀 世 音 菩 薩 仏 辰	2月19日	3月25日(月)	唐人屋敷 観音祭
崇 福 寺	清明節	4月5日(金)	崇福寺展墓
国 際 墓 地 清 明	3月2日	4月6日(土)	悟真寺 国際墓地展墓
天 上 聖 母 生 誕	3月23日	4月27日(土)	崇福寺媽祖祭・唐人屋敷媽祖祭
關 聖 帝 君 生 誕	6月24日	7月26日(金)	崇福寺關帝祭・唐人屋敷關帝祭
普 度 蘭 盆 勝 会	7月26日 7月27日 7月28日	8月26日(月) 8月27日(火) 8月28日(水)	(中国盆) 施餓鬼供養
大 成 至 聖 孔 生 誕		9月14日(土)	孔子生誕2570年祭
国慶節(70周年)		10月1日(火)	建国記念日

※長崎ランタンフェスティバル 2月5日(春節)～2月19日(日)(元宵節)

※過九節 3月5日(旧暦1月29日)

※中秋節 9月13日(旧暦8月15日)

## 「世界は小さい？大きい？」

第37回長崎県中国語コンクール上級の部最優秀賞受賞者

にしおか みお  
西岡 美和

私は2017年9月から2018年6月まで幸運にも中華人民共和国駐長崎総領事館の推薦により、北京師範大学に留学させていただきました。望んで望んで、やっと掴んだ留学のチャンス。充実した生活だったことは言うまでもありませんが、強く感じたことがあります。

それはこの世界はとっても小さいということ。私は高校時代、地元静岡の高校の国際科に通っていました。英語を中心に、異文化を学ぶコースでALT(外国語指導助手)が2人常在していました。担任の先生と同じほどお世話になり、大好きでした。

北京師範大学での授業1日目、もちろん最初に行くのは自己紹介です。私が地元のことや自分のことを紹介すると、授業後1人のアメリカ人クラスメイトが私に話しかけてきました。「シズオカのどこ？」静岡という単語を海外で、しかも外国人から日本語で聞いた私はびっくりしましたが、さらに彼は私に高校名を聞いてきました。私が高校の名前を告げると、「じゃあJAMESって知ってる？」と私に聞きました。実はそのJAMESこそ私が大好きなALTの1人です。よく話を聞けば、彼は以前静岡の教育委員会で働いていて、ALTの先生方をまとめる先生、つまり、私の先生の先生だったのです。中国で、日本人(私)とアメリカ人(クラスメイト)とオーストラリア人(ALT)が繋がった気がしました。さらに、帰国後、偶然参加した通訳ボランティアでは、クラスメイトの後任として派遣された人と出会い、そこでもクラスメイトの話で盛り上がりました。



世界は小さいと感じるのはこれだけではありません。長崎県立大学に進学し、中国語を学び、上海・武漢から来た留学生たちとたくさん交流をしました。彼らが帰国してから連絡を取ることが少なくなってしまったお友達もいましたが、私が今回留学中、SNS上に留學生活の様子をあげると、かつて長崎に留学していたお友達が「私も今その大学の院に通っているの！」と連絡をくれ、3年ぶりの再会を果たすことができました。ご縁がある、とはこういうことを言うのだと思うし、世界はつながっている、きっとどこにいても大丈夫、と思えるような体験でした。



そうかと思えば一方で文化の違いも身をもって体感したのがこの9ヶ月です。この期間に中国人のお友達の結婚式に参加させてもらい、また、花嫁さんの付き添い人も担当することになりました。中国の結婚は早朝から始まります。花嫁を奪いにくる新郎を部屋の中に入れさせないようにしたり、花嫁が歩くための靴を隠したり、日本よりも堅苦しくなく、賑やかで遊び心に溢れています。爆竹も終始鳴っていて常にビクビクしていたことも覚えています。

伝統的でもあり、現代的でもあり、1つのイベントで2つを味わうことができたのがこの結婚式です。彼らにとっては当たり前のことが、私にとっては全てが初めてで新鮮な体験でした。となりの国なのに、結婚式だけでもこんなに違うんだ！とすごくワクワクしました。また、太陽暦のお正月の雰囲気は一切なかったのには少し戸惑いましたがそれも“新鮮”でした。すぐ近くのとなりの国でもこんなに文化の違い、習慣の違いがある…新鮮が沢山ある！！知らないことが沢山ある！！

やっぱり世界は大きい！？まだまだ学べることが沢山ある！

これが私が留学で感じたことです。知るということは、理解することの第一歩だと思います。この小さな世界のご縁を大切に、大きな世界を理解できる人になれたらいいなと思います。



## 長崎で出会った幸せ

長崎県立大学シーボルト校研修員（中国人民对外友好協会職員）きつ せい 吉 星

2018年4月19日に長崎に来ました。今まで何回も日本に来たことがありますが、長崎は初めてです。長崎との出会いもその日に始まりました。2018年4月から3月まで長崎県立大学シーボルト校国際社会学部で研修をしておりました。これで、私の日本への留学という長年の夢はついに叶いました。陝西省出身の私はずっと前から、鎖国時代に海外との唯一の貿易の窓口であった長崎に来たかったです。昔の華僑たちが暮らしていた土地や多くの遣隋使や遣唐使の出発点である長崎を自分の目で見て、耳で感じる事ができまして、何度も心を打たれました。非常に素晴らしい体験でした。

長崎県立大学シーボルト校の国際社会学部で前期と後期併せて、日本史概説、東洋史概説、暮らしの中の救急法、心理学、文化社会学、日本語、国語表現、長崎と東アジア、自然と地理学、日本文学、歴史、日本事情など20科目を履修しました。仕事してから3年目の時に、再び大学生活に戻ることができましたことは、非常にありがたいと思います。そして、日本、アメリカ、タイ、ベトナム、韓国の留学生とともに講義を受けて活発なグループ討論を通じ、若者世代の考え方を知ることができまして、大変充実的な大学生活を送ってきました。担当の吉光教授からも熱心なご指導を賜り、レポートを予定通りに提出できました。

また、長崎県と長崎県日中親善協議会のイベントにも参加させていただきました。4月は長崎帆船祭りを見て、春の華やかな国際都市長崎を満喫させていただきました。長崎県日中親善協議会の2018年度総会では、「悠久の古都・長安」というテーマで、大昔からも日本と活発な交流の歴史を有する陝西省・西安のことについて、講演を行い、皆さんに紹介いたしました。

8月18日の壱岐研修では、現地の高校生と交流したほか、弥生時代の環濠集落跡「原の辻遺跡」を見学することによって、昔の一支国の雰囲気<sup>がんこうしゅうらくあと</sup>を身を以て体験することができました。8月20日からは、オブザーバーとして、日中韓トライアングル交流会に参加して、「君は兵を挙げたまえ、我は財を挙げて支援する」という梅屋庄吉と孫文との国境を越えた友情に感銘を受けました。そして、学生さんとともに、平和公園と原爆資料館を見学しました。原爆資料館の中に入って、その当時の資料や模型を見ていると、戦争の恐ろしさを痛感して、なんとも言えない気持ちになりました。この悲劇を再度繰り返してはいけないと思いました。

8月下旬に、湖北省代表団来県、9月に中国総領事館主催の国慶節の招待会、中国人墓地清掃などのボランティア活動にも参加させていただきました。10月上旬には、380年の歴史を有する長崎秋の風物詩「長崎くんち」も満喫できました。その後、長崎国際交流フェスティバル、日中平和友好条約締結40周年を祝う長崎と中国の友好交流レセプションなど大変有意義なイベントにも参加させていただきました。11月に、中国青年代表団、中国地方幹部職員代表団、日中植林植樹大学生訪日団などの来訪を迎えました。歓迎レセプションと観光プレゼンテーションにも加わり、長崎と中国との深い友情や友好往来をしみじみ感じておりました。12月30日から1月3日まで、公益財団法人長崎県国際交流協会様のご紹介で、雲仙市の脇坂様宅にホームステイさせていただき、ご家族の皆さんと新年を迎えました。

時間の経つのは早いものです。非常に名残惜しく思います。長崎に暮らしていたこの1年間はすでに私の宝物になり、長崎とのご縁も一生忘れません。帰国したら、きっとまた長崎に来たくくなります。帰国後、この1年間で学んだ知識や積んだ経験を職場に生かして、日中友好の更なる発展のために、頑張りたいと思います。日中友好条約締結40周年という節目の年に長崎に来て、たくさんの人と出会い、様々な幸せに出会い、本当に楽しかったです。



## 「長崎帰来不看日」

長崎県国際課 主事 <sup>ふじの</sup>藤野 <sup>さとし</sup>聡

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が、昨年世界遺産に登録されたのは記憶に新しいところですが、中国には世界遺産がいくつあるかご存知ですか？答えは53カ所です。万里の長城やシルクロードなどの文化遺産はとても有名だと思いますが、美しく雄大な自然を楽しめる自然遺産もたくさんあります。中でもおすすめは中国の五大名山「五岳」と「黄山」です。中国の昔の諺に「五岳帰来不看山、黄山帰来不看岳（五岳を見てしまったら他の山は見られない、黄山を見てしまったら五岳ですら見られない。黄山を見ずに山を見たと言うなかれ。）」とあるように、古くから人々に愛されてきた絶景として名高い場所です。



少林寺で有名な嵩山（河南省）

中国では多くの山にケーブルカーが設置されており、山頂まで綺麗に整備された歩道があるので、お年寄りから小さな子供まで家族そろって登山を楽しむ光景をよく見かけます。日本のように専用の装備を揃えて一步一步山道を踏みしめて歩く登山とは大分様相が異なっています。それでも、山頂に着いた皆さんの笑顔を見ていると、美しい自然の風景を愛でる気持ちは万国共通なのだと改めて感じます。



世界遺産「黄山」（安徽省）

山の話をしていたら、急に長崎の雲仙や虚空蔵山が恋しくなってきました。登山の後に温泉でひとつ風呂浴びるのは最高の休日の過ごし方ですよね。私のまだまだ貧弱な中国語ボキャブラリーではこの素晴らしさを伝えきれないので、これからますます語学の勉強に力を入れて、いつかきっと中国の登山仲間を長崎に招待したいと思っています。「東京や大阪だけを見て、日本の魅力を語ることなかれ。」

ちなみに、世界遺産の「黄山」は長崎から直行便のある上海から高速鉄道で約3時間ほどの距離にあります。皆さんも中国山の旅に出かけてみるのはいかがでしょうか。

※2017(平成29)年9月より

北京語言大学にて語学研修中

## “留動中国－在華留学生阳光運動文化之旅”

長崎県国際課 主事 <sup>つみ</sup>堤 <sup>けんたろう</sup>賢太郎

皆さんこんにちは。2017年9月より語学研修生として中国福建省福州に派遣されている堤と申します。今回は、中国教育部が主催する、“留動中国-在華留学生阳光運動文化之旅”に出場した時のことについて少し紹介したいと思います。

この大会は、世界中から中国に留学している約50万人の留学生が、スポーツ、演舞や舞踊



などの舞台発表を通して、中国と世界各国の友好交流を目的とした大会です。中国の改革開放政策40周年記念にあたる2018年に第3回目となる大会が開催されました。種目は、演舞や舞踊などの舞台発表、3×3バスケットボール、トレイル・オリエンテーリングの3種目です。



まず、東南、西北、東北、西南の4つの地域に別れて予選を行い、上位3チームが決勝大会に進むことができます。

私が通っている福建師範大学は、ナイジェリア、ウクライナ、ベラルーシ、ウズベキスタン、インドネシア、フィリピン、日本からの留学生でチームを組みました。大会出場の1ヶ月前から本格的な練習がスタートしました。私達のチームの演舞は先生が独自に考えた中国の伝統的な太極拳や舞踊をミックスしたものでした。覚えることがとても多く、無意識に踊ることが出来るようになるまで時間がかかりました。それでも仲間達と励まし合いながら、冗談を言い合い、時にはケンカもしたけれど、誰一人途中で諦めることなく練習を続けていきました。

本番では、舞台発表の部で8位入賞という成績を収めることができました。最も時間をかけて練習してきた種目だったので、この入賞という成績はとても喜ばしいものとなりました。3×3バスケットボールは、2勝2敗で迎えた予選リーグ最終戦、勝った方が決勝トーナメント進出という試合で一進一退の攻防が続きました。しかし、最終的に21-19で敗れてしまい惜しくも決勝トーナメント進出を逃しました。

トレイル・オリエンテーリングの部でも入賞を逃し、総合成績で上位3チームに入ることができず、予選敗退という結果に終わってしまいました。しかしながら、仲間達と過ごした日々はかけがえのないものとなりました。私以外、みんな一足先に留学生生活を終えてそれぞれの国に帰って行きましたが、今でも連絡を取り合っています。現地の中国人の友達だけでなく、世界各国の友達を作ることができるのも留学生生活の醍醐味の1つだと感じました。私の研修期間も残り少ないものとなりましたが、残された日々を1日1日大切に過ごしていきたいと思っています。

※2017(平成29)年9月より

福建師範大学にて語学研修中




長崎

月曜日  
金曜日

上海  
(浦東空港)

13:20発 ←〈MU520便〉→ 14:20着  
12:25着 ←〈MU519便〉→ 9:30発  
(すべて現地時間での表示)

 中国東方航空長崎支店

■ご予約・お問い合わせは  
〒850-0033 長崎市万才町7-1 住友生命ビル4階  
TEL 095(828)1510・FAX 095(828)2539

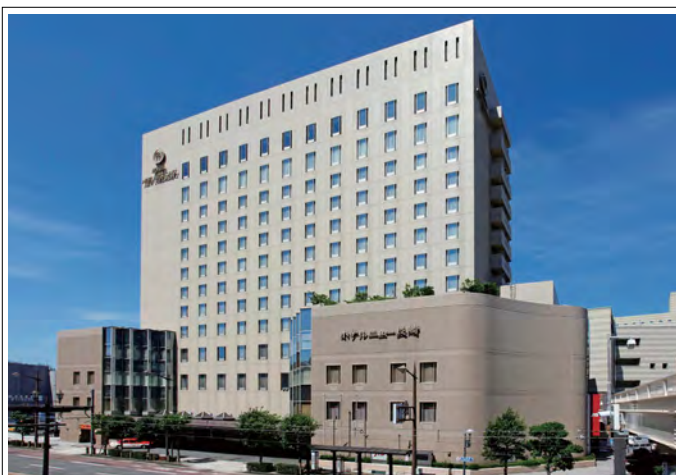


そのお客様だけの上質で価値ある旅を。

ご宿泊から各種パーティー・会議・ご会食まで、それぞれの場面にふさわしい心あたまるおもてなしでお迎え致します。

ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル  
〒850-0931 長崎市南山手町1-18  
Tel 095-818-6601  
www.anacrowneplaza-nagasaki.jp

  
ANA  
CROWNE PLAZA  
NAGASAKI GLOVER HILL



HOTEL NEW NAGASAKI  
ホテルニュー長崎

〒850-0057 長崎市大黒町14番5号  
TEL:095-826-8000(代)  
<https://www.newnaga.com/>

facebookページはじめました



旅の  
お  
得  
な  
情  
報  
お  
届  
け  
し  
ま  
す

いいね!

でフォロー  
お願いします



日中悠友旅行

検索



日中悠友旅行(株)

〒850-0036 長崎市五島町5番36号 ☎095-811-0108

## 平成31年度新規会員募集

長崎県日中親善協議会は、日本国と中華人民共和国との親善を図り、平等互惠の上に相互の文化交流、経済提携を促進し、世界の平和と繁栄に寄与することを目的として昭和48年に設立されました。

友好交流事業では、中国人墓地清掃、中国語コンクール、中国語講座の開講等を行っております。

当協議会の主旨に賛同される方を広く募集いたします。

●年会費 個人会費 3,000円  
法人会費 10,000円～

●4月からは、中国語講座も開講します。

ただいま受講生募集中です。

お問い合わせは、当協議会まで

## 事務局紹介

2019(平成31)年3月1日

事務局長(長崎県国際課長) 佐々野一義

事務局次長( // 国際課総括課長補佐) 江口 信

事務局書記( // 国際課課長補佐) 坂口 育裕

// ( // 国際課係長) 本多 良成

// 大坪 優子

// 徐 静